

あなたの街の地震マップ [瑞穂区]

この図は、「東海・東南海連動地震」による震度、液状化危険度についての予想結果を示しています。

凡 例	
□	広域避難場所
□	一時避難場所
●	避難所
■	土砂災害危険箇所
予想される震度	
震度6強	■
震度6弱	■
震度5強	■
予想される液状化危険度	
極めて高い	■
高い	■
低い	■
アカハ ない	■
ほとんどない	■
市界	-----
区界	-----
学区界 (学年別) おおよそで	-----

瑞穂区の地震被害予報

瑞穂区の東海・東南海連動地震被害予報をお知らせします。

震度や液状化の見とおし

- ・瑞穂区では大部分の地域で「震度6弱」の強いゆれとなるでしょう。
- ・山崎川より東部の丘陵方面の一部では、「震度5強」のゆれになるでしょう。
- ・川沿いの地盤の低い方面などでは液状化が起きるおそれがあります。
- ・東部の丘陵方面では、強いゆれのために崖崩れが起きることもあるでしょう。

建物などの被害の見とおし

- ・新しい建物は強い被害である場合もありますが、古い建物は半壊や全壊のおそれがあります。
- ・瑞穂区全体での、建物の全壊は約1000棟（約30棟に1棟）、半壊は4000棟弱（約10棟に1棟）となるでしょう。
- ・死者は10人前後にのぼり、負傷者は1000人前後になるでしょう。

火災の見とおし

- ・住宅の密集している地区等で数箇所の火災が発生するおそれがあります。

その他の被害の見とおし

- ・電気、水道、ガスは止まるでしょう。電話もつながりにくくなるでしょう。
- ・電車やバスなどの交通機関はストップします。



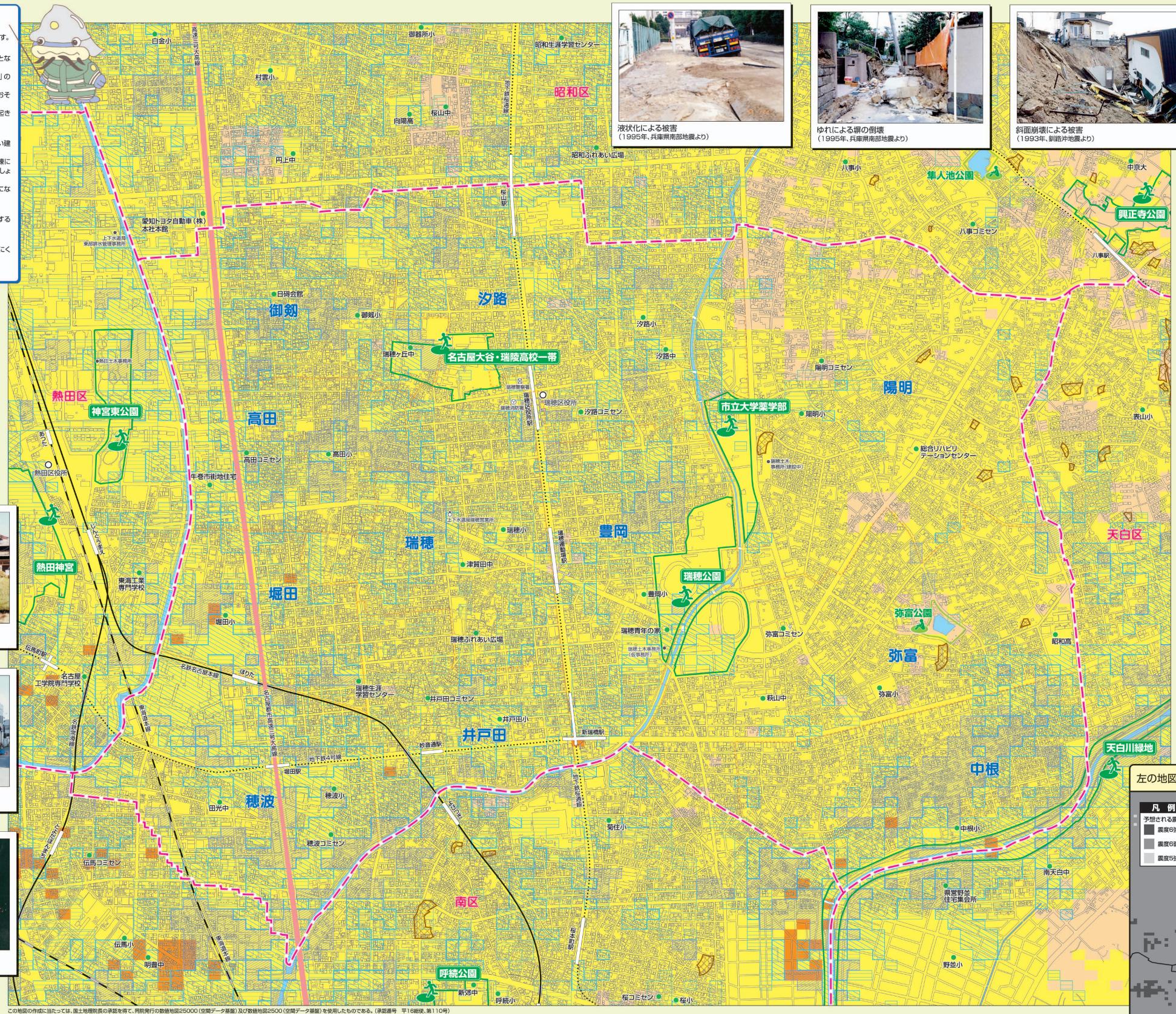
ゆれによる建物倒壊（震度6弱程度）
(1995年、兵庫県南部地震より)



ゆれによる建物倒壊（震度6強程度）
(1995年、兵庫県南部地震より)



密集地の火災
(1995年、兵庫県南部地震より)



この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び数値地図2500(空間データ基盤)を使用したものである。(承認番号 平16第127、第110号)

SCALE: 1/9,000

0 100 500 1,000m

震度の説明			
震度	状況	木造の住宅	コンクリート造の建物
7	高 い 耐震性	家全体が大きく傾いたり、倒れるものが出てくる。	建物全体が傾いたり、倒れるものも出でてくる。
6 強	高 い 耐震性	ほとんどの家の壁や柱が壊れるものが増えてくる。	多くの建物が壊れたり、傾いたり、倒れたりする。
6 弱	高 い 耐震性	壁や柱が壊れるものが多くなる。	壁や柱が壊れるものが増えてくる。
5 強	高 い 耐震性	立っていることがむずかしく、はかないと動くことができない。	建物全体が大きく傾いたり、倒れるものが出てくる。
5 弱	高 い 耐震性	壁や柱が壊れるものが増えてくる。	壁や柱に亀裂があるわれたり、壊れるものも出でてくる。
4	高 い 耐震性	梁や柱に亀裂があるわれたり、壊れるものにかまつ歩くようになる。	壁や柱に亀裂があるわれたり、壊れるものが増えてくる。
3	高 い 耐震性	壁などに亀裂があらわれたりするようになる。	壁などに小さな亀裂があらわれたりするようになる。
2	高 い 耐震性	動くのがむずかしくなり、ひどい恐怖を感じるようになる。	壁などに大きな亀裂があらわれ、壊れるものが出てくる。
1	高 い 耐震性	ほとんど被害はない。	ほとんど被害はない。
0	高 い 耐震性	動きにくくなっているので、身の安全を図ろうとする。	壁などに小さな亀裂があらわれたりするようになる。

液状化危険度のランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。液状化が発生する面積はこのうちの18%～35%程度である。砂や泥水が噴き出し、建物が傾く場所もある。
高い	液状化の危険度は高い。液状化が発生する面積はこのうちの5%程度である。砂や泥水が噴き出し、建物が傾く場所もある。
低い	液状化の危険度は低い。液状化が発生する面積はこのうちの2%程度である。砂や泥水が噴き出す場所もある。
ほとんどない	液状化の危険度はかなり低い。液状化が発生する面積はほとんどない。

激甚な被害を引き起こす大地震は、いつ起こっても不思議ではありません。いざという時の避難場所や対処の方法、そなえについて家族や近所で話し合っておきましょう。

